

これからの地方自治を創る実務情報誌

月刊

ガバナンス

2015

5

No.169 May

特集

新体制と 自治体のガバナンス



スキルアップ特集

ベテランに学ぶ
若手に学ぶ

平成につぼんの首長

鈴木義孝

福島県三春町長

自治・地域再興

木村俊昭

東京農業大学教授

ぎょうせい

Governance

企画
財政総務
人事情報
IT

環境

保健
福祉地域
振興商工
観光農林
水産運輸
交通土木
建築危機
管理

企 ネーミングライツの手法を活用した 官民協力事業を展開

埼玉県和光市（7万9400人）では、ネーミングライツ基本方針を策定し、これまでに2事業を実施している。

第1弾の事業となる「和光市駅前トイレ診断士の廁堂（かわやどう）」では、ネーミングライツの手法により和光市駅南口公衆便所をリニューアルしてオープンした。この事業は、現金での資金提供を受けるのではなく、その代わりにネーミングライツパートナーに、無償でトイレの改修を施してもらい、さらには衛生管理や巡回パトロールなども実施する、役務の提供という形による新たなネーミングライツの手法を活用している。

また事業の第2弾として、市内にある本田技研工業の協力により、市役所ロビーに同社製の旧型のバイクを無償で借り受けて展示している。展示に際しては、事故等を未然に防ぐための工夫として、アクリルパーテーションを設置した。このアクリルパーテーションの設置にあたっては、市内事業者のCSR（企業の社会的責任）を目的に、その知識や技術力又は資金を提供する新たなネーミングライツの試みとして市と市内事業者と協働で実施した。パーテーションは、趣旨に賛同した市内事業者5社から無償で提供された。

●和光市政策課企画調整担当

☎ 048・464・1111